



細川まなか

市政速報！ 02

育児と
介護の
二刀流

令和 7 年 10 月 27 日 発行

公式LINE



ご登録お待ちしております

第 25 代鎌倉市長が決定！

鎌倉市長選挙 2025 開票速報

10 月 19 日告示の鎌倉市長選挙 2025 の開票が 26 日深夜に行われ、31,535 票で松尾たかし現市長が 5 期目の当選を果たしました。

くりはら えりこ	24,829 票
松尾 たかし	31,535 票
うめざわ やすお	1,922 票
ひろせ こういち	1,598 票

松尾市長の公約は？

松尾市長のホームページでは「未来ビジョン鎌倉 2029」
として今後 4 年間の政策目標を以下のように掲げています。

～世界に誇れる持続可能なまち鎌倉を目指して～

災害、インフラ老朽化、オーバーツーリズムから市民を守り、
教育、子ども、文化、スポーツ、健康政策で徹底的に攻める！

守りの 1 手 災害・犯罪から市民を守る

守りの 2 手 インフラ・公共施設の確実な更新で市民生活を守る

守りの 3 手 オーバーツーリズムから市民を守る

攻めの 1 手 教育・子育て・子育て環境を徹底的に充実する

攻めの 2 手 市民の心と身体の健康

攻めの 3 手 環境保全、そして『ごみのない』社会づくりを鎌倉から世界へ

攻めの 4 手 伝統・文化・芸術・スポーツ × 経済で、鎌倉の魅力・価値を徹底的に高める

攻めの 5 手 全ての施策の推進力となる市民のつながりを育む

投票率は？

鎌倉市長選 2025 の投票率は 40.91% (前回 41.78%、
前々回 60.12%)

今年春の市議選は 47.66%
若者の政治離れや、高齢化
により投票所に行くことが
できない人が増えたことに
より、全国的に投票率は
低下傾向にあるものの、
長期政権や候補者の構図
への諦めも感じられる。

松尾市長の公約の注目ポイント & 解説①

【任期 4 年間で取り組む政策】

- ・ **ペット同伴避難**が可能な拠点の整備に取り組みます
→細川が 9 月議会一般質問で取り上げたところ、以前から同伴避難所の整備に向けて検討しているが、受け入れ可能な施設がないとのこと。打開策があつての発言か。
- ・ 交通インフラであるバス便の減便で困っている地域のバス便について、**バス会社に補助金を出して現状のバス便の維持や増便に繋げます。**
→バスの減便について、細川も 9 月議会に追及しているが当時このような発言はなかった。バスの減便は全国的な課題。単に補助金を出すだけで解決が可能か。
- ・ 観光客集中地域に**有料トイレ**を整備します。
→これまで多くの議員からの提案があつたものの実施に至っていない。観光客向けのトイレ整備には一部市民からは反対の声もある中で実現に漕ぎつけられるか。
- ・ 民泊も含めた**宿泊税**を導入します。
→これまで何度も議論されてきたものの実施に至っていない。観光客の来訪に反対意見も多い中、実現に向けて動き出せるか。鎌倉市に来る観光客の宿泊率は 10% 以下。宿泊率の向上や宿泊施設の増設とセットでの実施が必要。
- ・ 大型観光バスを対象とした**ロードプライシング**を導入します。
→こちらも何度も議論されてきた件。徴収方法は？ 実現可能な具体案があるのか。
- ・ **小学校給食、中学校給食**の魅力を高め、さらに無償化します。中学校給食は、食缶方式を導入することで、おかずも温かく提供できるようにします。
→いつから？ 国は小学校段階について令和 8 年度から無償化予定、何月からかの明記なし。中学校について国は「できる限り速やかに」としているが、鎌倉市として先行して実施するのか？ 食缶方式は以前から要望があるが、実現にこぎつけられるか。
- ・ **第二子保育料無償化の、第一子の年齢制限を撤廃**します。
→9 月議会での陳情をそのまま取り入れた形。現状、国の基準で第一子が小学校に上がると、第二子の無償化は対象外となる。市は国が現状の年齢制限つき第二子無償化を実施する前から、独自で第二子無償化を実施してきた。実現は市長の決断次第。
- ・ 小中学校の普通教室、特別教室に続いて、**体育館にも冷房設備を設置**し、猛暑の中でも子どもたちが運動できる環境を整えます。
→学校体育館のエアコン設置については細川も 9 月議会一般質問で取り上げ、令和 8 年度の予算化を目指しているとの回答。いつ設置されるか、予算化からの期間が重要。
- ・ **保育園の待機児童をゼロ**にすると共に、**保留児童もゼロ**を目指します。
→市は令和 6 年度まで保育園を増設せず。待機児童数県内ワースト 1 となったことで令和 7 年から方針転換し保育園を増設。市長の中での優先度の低さが垣間見える。
- ・ 空き家を活用するなどして、**乳幼児親子や子どもたち、小中学生の放課後の居場所**を地域につくります。
→こども会館を閉鎖し、放課後まくらっ子を開設したことで、子供たちが自由に出入りできる場がなくなったことが度々議会でも指摘されている。再びこども会館のような施設を作るのか？ 空き家活用には所有者の意向等課題も多い。実現に漕ぎつけられるか。
- ・ 学校整備計画に基づき、**老朽化した学校の大規模改修を進めるとともに、学校トイレの洋式化・老朽化対策**を実施します。
→不登校特例校由比ガ浜中学校の開設等、先進的な取り組みもある一方、市内には築 70 年近くを迎える学校も。地域間格差改善のための早急な整備、子供のための施設への投資を求める。
- ・ **介護ロボット導入**で重介護ゼロ社会を目指します。
→是非実施して頂きたいが、具体的には？ 施設への導入補助？ 居宅介護における補助？ ざっくりしすぎていてよくわからない。